

Ⅲ 主な事業について

1 子どもを生き育てやすく、健やかにはぐくむ街 ①

Point



- ・ 子育てと仕事の両立の支援や、子育て支援施設等の整備
- ・ 乳幼児の予防接種の拡大や障がい児対応の充実

子どもを生き育てやすい環境づくり	—主要事業—	予算額（千円）
	ワーク・ライフ・バランス推進事業	7,600
	◎子ども手当	27,128,989
	◎緊急サポートネットワーク事業	9,960
	○母子家庭自立支援給付金事業	68,600
	私立保育所新築・改築費補助	2,264,726
	認可保育所整備促進事業	5,000
	私立保育所老朽改築費等補助	145,720
	私立保育所分園整備費補助	22,500
	◎認定こども園整備費補助	295,994
	◎家庭的保育事業調査	1,000
	○児童会館運営管理	2,204,196
	○ミニ児童会館運営管理	770,421
	妊婦一般健康診査	875,720
	◎ヒブワクチン接種	37,185
	福祉と多世代のふれあい公園づくり事業	109,500
	特定優良賃貸住宅供給事業	206,908

◎:新規事業、○:レベルアップ事業

● 保育所の整備を拡充

さまざまな手法で保育所整備の補助を拡大します。

併せて家庭的保育（保育ママ）の試行に向け調査を実施！

私立保育所新築費補助

新築 4か所（定員 360人増）

私立保育所改築費補助

改築 10か所（定員 300人増）

認可保育所整備促進事業

整備 1か所（定員 60人増）

私立保育所分園整備費補助

分園 2か所（定員 40人増）

認定こども園整備費補助

幼稚園と保育所を一体化した認定こども園に移行する私立幼稚園に対し、整備費の一部を補助します。

整備 1か所（保育所定員 60人増）

私立保育所老朽改築費等補助

入所児童の安全確保や保育環境の改善のために、老朽化が著しい私立保育所に対して改築や大規模修繕を行う場合の補助を実施します。

改築 1か所

**保育所定員
820人増！**

施設整備数19件



● 子ども手当を支給します！

子育ての経済的負担を軽減し、安心して出産し、子どもが育てられる社会をつくることを目的とした「子ども手当」を支給します。

中学校卒業まで
月額13,000円支給



● 母子家庭の自立支援を拡大

母子家庭自立支援給付金事業

母子家庭の母親が自立に効果的な看護師等の資格を取得することを支援する給付金を拡大します。

対象資格 看護師、保育士、介護福祉士など
対象期間 修業期間の後半1/2(上限18か月)
→修業全期間(H23年度入学者まで)
支給額 103→141千円/月(非課税者)
51.5→70.5千円/月(課税者)
※ H21年6月から実施済み



● 地域の子ども預かり事業を実施

緊急サポートネットワーク事業

子育ての援助をした人(提供会員)と援助を受けたい人(依頼会員)とによる会員組織で運営している「ファミリーサポートセンター事業」において、宿泊を伴う預かり、病児・病後児の預かり等、臨時的・突発的なニーズにも対応できるメニューを充実させます。



● 安心・安全な妊娠と出産のために

妊婦一般健康診査

妊婦の健康を守り安全な出産と健康な子どもの出生のため、妊婦一般健康診査の費用を14回分助成します。



● 障がい児対応を充実

児童会館運営管理 ミニ児童会館運営管理

児童会館及びミニ児童会館の指導員の配置日数を増やし、児童クラブなどの障がい児受入れ体制を充実します。



● ヒブワクチン接種の公費負担を実施

ヒブワクチン接種

Hib(ヒブ)による髄膜炎等の発症を予防するワクチンの接種に対する助成制度(接種費用の1/2程度)を導入します。



接種期間
生後2か月～4歳
助成制度導入
政令市初!

● キッズコーナーの整備と多世代交流

福祉と多世代のふれあい公園づくり事業

親子や親同士もふれあえる、主に就学前の子どもたちを対象とした、キッズコーナーを4か所の公園に設置するほか、地域や高齢者福祉施設と連携した健康維持や身体のリハビリテーション等を目的としたリフレッシュパークを市内で初めて整備します。



1 子どもを生き育てやすく、健やかにはぐくむ街 ②

Point

- ・ 修学困難な生徒・学生に対する学習機会の拡充や読書活動の充実
- ・ 児童相談所機能や特別支援教育の充実

未来を担う
子どもが
健やかに育つ
環境の充実

—主要事業—	予算額（千円）
市立札幌大通高等学校整備	306,000
○奨学金支給	102,256
○小・中学校特別支援教育関係	169,403
小・中学校増・改築	3,297,700
◎札幌らしい特色ある学校教育事業	12,080
◎読書チャレンジ関係	69,352
◎学校統合関係改修等事業	344,000
◎私立幼稚園特別支援教育事業費補助	54,072
○子どもの美術体験事業費補助	9,500
◎ジュニア防災スクール事業	4,000
◎地域小規模児童養護施設設置事業	8,000
○児童家庭支援センター運営費補助	44,078
◎児童相談所将来構想策定事業	4,820
○災害遺児手当支給	8,736
子どもの権利推進事業	8,700
子どもの権利救済機関運営管理	43,900

◎：新規事業、○：レベルアップ事業

● 奨学金の支給対象者を拡大

奨学金支給

意欲や能力があるにもかかわらず、経済的理由により修学困難な高校生や大学生などに対する奨学金を、昨年度に引き続き拡充し、支給枠を 1,315 人にします。



315人分増

● 災害遺児への助成を拡大

災害遺児手当支給

交通災害等により養育者を失った義務教育修了前の遺児を扶養している市民に支給している災害遺児手当等を増額します。




災害遺児手当
月額 ~~2,500円~~ → 4,000円

入学等支度資金
~~1.5万円~~ → 2万円

● 幼稚園の特別支援教育を充実

私立幼稚園特別支援教育事業費補助

発達障がいなどの特別な支援を必要とする幼児の受け入れを行っている私立幼稚園に対して補助を行います。



● 札幌の特色を反映

札幌らしい特色ある学校教育事業

「自立した札幌人」を育むため「雪」、「環境」、「読書」の3つのテーマに沿った事業を展開します。



【内容】

スキー学習
雪シンポジウム
農業体験
エコスクール宣言
読書チャレンジ など

● 読書教育を充実

読書チャレンジ関係

子どもの読書の習慣化と意欲の向上を図り、子どもが自ら進んで本を読みたくなるような環境を整備します。



【内容】

- ・ 学校に居ながら公立図書館の本を借りられるネットワークの整備
- ・ 子どもが自ら書いた文章が実際の本になるまでを体験できる出版体験事業 など
- ・ 札幌家庭読書の日（10/9）に合わせてイベントを開催

● さあ行こう、芸術の森へ！

子どもの美術体験事業費補助

芸術の森美術館に小学生を招待し、学芸員等による展覧会の解説や、佐藤忠良記念子どもアトリエでの体験学習を開催します。

小学校5年生を招待！

**23年度の
全校実施
に向けて、
20校から
100校
に拡大!!!**

● 社会的養護の充実

児童家庭支援センター運営費補助

児童相談所機能を補完する児童家庭支援センターを新たに2か所開設します。



2か所→4か所

地域小規模児童養護施設設置事業

虐待を受けた子どもたちに対して、より家庭的な生活環境できめ細やかな心理的ケアを行う、地域小規模児童養護施設の整備費の一部を補助します。

児童相談所将来構想策定事業

相談件数の増加や内容の複雑化に対応するため、児童相談所の課題及び期待される役割等を整理し、機能強化に向けた将来構想を策定します。



【想定スケジュール】

- H22. 4～ 現状把握、調査内容精査
H22. 12～ パブリックコメント
H23. 3 将来構想策定

● 学校の増・改築による学習環境の充実

小・中学校増・改築

児童の増加等に伴う小学校の増築工事を行います。また、老朽化した小学校の2校の改築工事を行うほか、北白石小・中学校の改築に向けた実施設計を行います。

増築工事：円山小学校、栄町小学校
改築工事：桑園小学校、平岸西小学校

改築設計：北白石小・中学校
ペレットボイラー
設置予定



● 地域防災を担う中学生の育成

ジュニア防災スクール事業

将来の地域の防火・防災を担う人材を育成するため、中学校3校をモデル校とした中学生消防隊を結成するなど、防火・防災に関する教育を行います。

